

# 東北地方 1か月予報

(3月11日から4月10日までの天候見通し)

平成18年3月10日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

東北地方では積雪が平年を大きく上回っている所もありますので、融雪災害やなだれ等に注意してください。

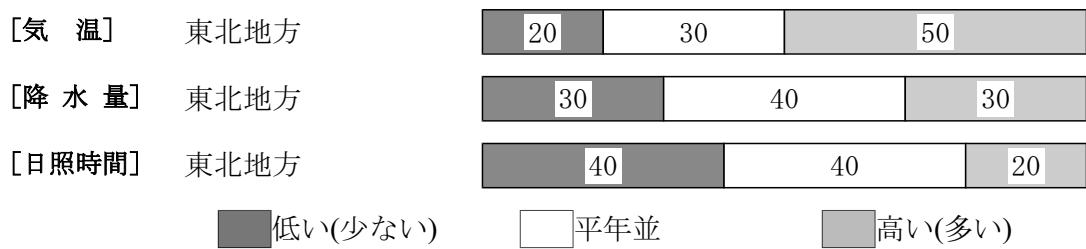
## <予想される向こう1か月の天候>

この期間、気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となるでしょう。東北地方は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

向こう1か月の平均気温は東北地方で高い、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北地方で平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は高い、3～4週目は平年並か高いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 3月11日(土)～4月10日(月)  
1週目 : 3月11日(土)～3月17日(金)  
2週目 : 3月18日(土)～3月24日(金)  
3～4週目 : 3月25日(土)～4月7日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月17日  
3か月予報：3月23日(木) 14時

## <参考資料（平年並の範囲等）>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温(°C)		
				1週目	2週目	3～4週目
大船渡	5.1	113.1	173.0	3.1	4.0	6.0
新庄	3.6	107.2	131.4	1.6	2.5	4.4
若松	4.9	66.6	152.1	2.5	3.7	6.0
深浦	4.3	85.8	145.4	2.2	3.2	5.4
青森	3.8	64.5	163.4	1.6	2.6	4.8
むつ	3.1	76.4	171.0	1.0	2.0	4.2
八戸	4.1	53.5	183.3	1.8	2.9	5.2
秋田	5.0	100.0	156.5	2.8	3.8	6.1
盛岡	3.7	87.0	170.7	1.4	2.5	4.8
宮古	4.7	95.1	187.6	2.6	3.5	5.7
酒田	5.9	102.5	146.9	3.8	4.8	6.8
山形	5.0	66.1	158.9	2.7	3.7	6.0
仙台	6.1	85.1	187.4	4.1	5.0	7.0
石巻	5.3	80.8	192.6	3.4	4.2	6.3
福島	6.7	82.3	183.8	4.5	5.4	7.7
白河	5.3	87.4	183.3	3.2	4.1	6.4
小名浜	7.6	122.2	187.0	5.9	6.6	8.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2～+0.3	87～112	97～106
東北日本海側	-0.2～+0.3	88～108	94～106
東北太平洋側	-0.2～+0.3	83～118	97～105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.5～+0.6
東北日本海側	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.5～+0.5
東北太平洋側	-0.7～+0.6	-0.5～+0.6	-0.4～+0.6

## <参考資料（利用上の注意）>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成18年3月10日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(3月11日~4月10日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となるでしょう。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

なお、積雪が平年を大きく上回っている所もありますので、融雪災害やなだれ等に注意してください。

平均気温は高いでしょう。

### 1週目(3月11日~3月17日) :

明日(11日)から明後日(12日)にかけては寒冷前線の影響で雨が降り、雪に変わる見込みです。期間の中頃は冬型の気圧配置となり、東北日本海側や東北太平洋側山沿いは雪で、東北太平洋側平野部はくもりや晴れでしょう。期間の後半は高気圧に覆われて晴れる日がある見込みです。

なお、期間のはじめは、なだれや融雪による土砂災害に注意が必要です。

平均気温は平年並でしょう。

### 2週目(3月18日~3月24日) :

気圧の谷が数日の周期で通過するでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

### 3~4週目(3月25日~4月7日) :

天気は数日の周期で変化しますが、一時前線や低気圧の影響で天気がぐずつくでしょう。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

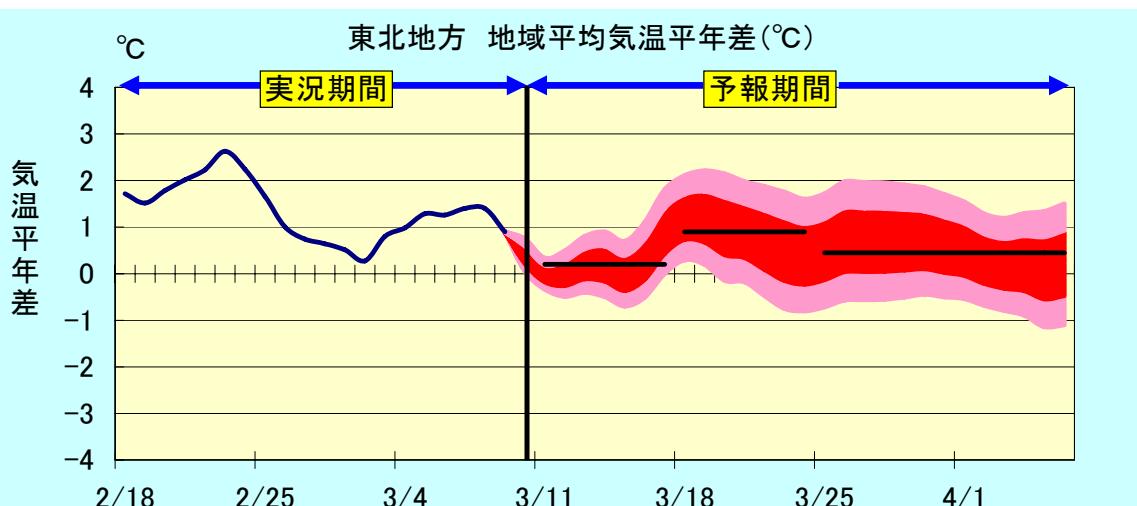
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.6日	2.9日	3.3日	7.4日
東北太平洋側	17.9日	4.6日	4.4日	8.9日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目「平年並」、2週目「高い」、3~4週目「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から3~4週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



\* 実況期間(図の左側)の太い実線: 東北地方の平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

\* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

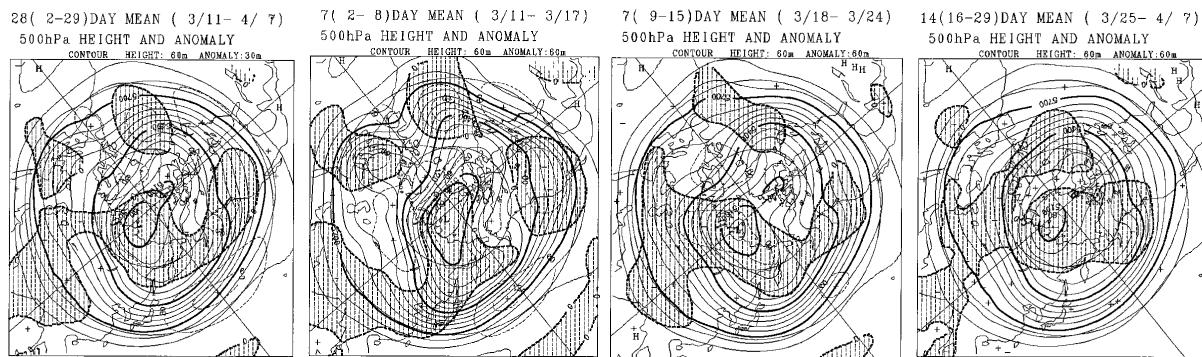
\* 水平な3本の実線: 予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は日付変更線付近に中心を持つ強い正偏差（暖気に対応）に覆われる。

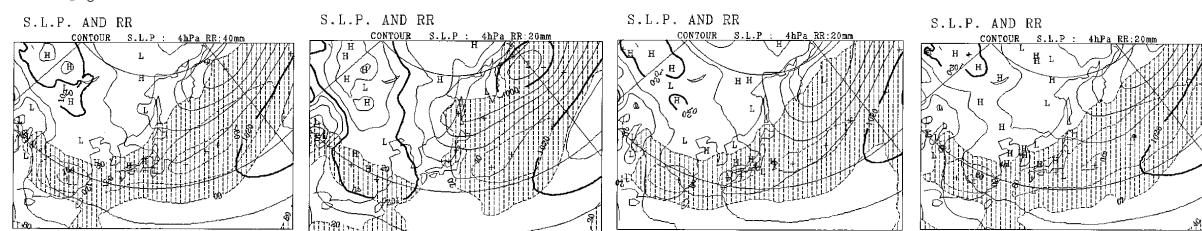
1週目は、日本付近は弱い負偏差に覆われるが日付変更線付近に中心を持つ正偏差は強い。2週目、3~4週目は、日本付近は東西に広がる正偏差に覆われる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、北太平洋中緯度で高圧部が強い。日本の南海上を中心に降水域がかかる。

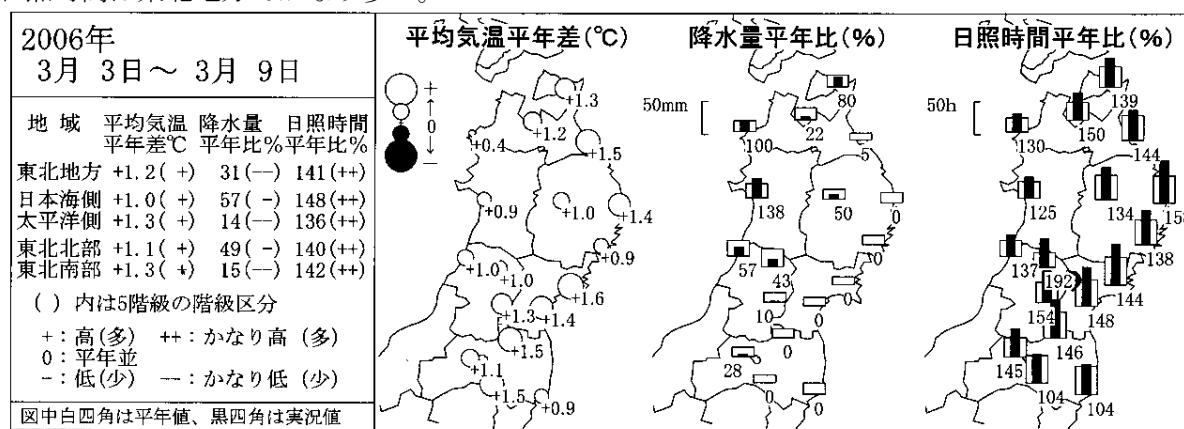
1週目は、カムチャツカ半島付近の低圧部は強い。降水域は、日本海側と日本の東海上に広がり、日本付近は一時的に冬型の気圧配置となるみこみ。2週目、3~4週目は、日本付近の等圧線の間隔は広く、低気圧と高気圧が交互に通過する見込み。降水域は日本の南海上を中心に東西に広がる。



### 4. 最近1週間（3月3日～3月9日）の天候の経過

この期間、はじめ冬型の気圧配置となり、その後寒冷前線が短い周期で通過した。天気は、東北日本海側では、短い周期で変化したが、東北太平洋側では前線の影響は小さく、晴れの日が続いた。寒冷前線の通過した8日は、西よりの風が強まり、宮城県では飛散物により負傷者がでたり、車が破損するなどの災害が発生した。また鉄道の運休など交通障害が発生した。最大風速は、宮城県古川で21メートル、仙台で18.6メートル、最大瞬間風速は仙台で32.3メートルを観測した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）